

シラバス

科目名		フライトシミュレーション I b		担 当 者 名		長野 昭一、黒羽 則和	
学 科		航空学科パイロットコース		授業方法		実習	
認定単位	1単位	開 講 期			授 業 時 間 数	36時間	
開講学年	1学年	必・選		必選			
授業目的		パイロット養成機関の飛行適性検査合格を目的とする。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		フライトシミュレーターを用いて操縦技術を身に付けながら、飛行機の特性・知識・判断力を習得し 更なる社会性の調和を図る。					
授業概要		航空機に対する操縦技術・知識を学び、総合的フライトマネジメントを習得する。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション		19	空中操作スローフライト (その1)		
	2	オリエンテーション		20	空中操作スローフライト (その2)		
	3	オリエンテーション		21	空中操作スローフライト (その3)		
	4	学習ガイダンス／シミュレーター操作について		22	ILS計器進入方式 (その1)		
	5	計器出発方式 (その1)		23	ILS計器進入方式 (その2)		
	6	計器出発方式 (その2)		24	ILS計器進入方式 (その3)		
	7	計器出発方式 (その3)		25	タッチ&ゴー操作 (その1)		
	8	直線水平飛行		26	タッチ&ゴー操作 (その2)		
	9	水平旋回		27	トラフィックパターン飛行 (その1)		
	10	空中操作旋回バンク30° (その1)		28	トラフィックパターン飛行 (その2)		
	11	空中操作旋回バンク30° (その2)		29	着陸操作 (その1)		
	12	空中操作旋回バンク30° (その3)		30	着陸操作 (その2)		
	13	空中操作旋回バンク45° (その1)		31	ハンガー前駐機		
	14	空中操作旋回バンク45° (その2)		32	総合操縦演習 (その1)		
	15	空中操作旋回バンク45° (その3)		33	総合操縦演習 (その2)		
	16	空中操作ストール (その1)		34	まとめ		
	17	空中操作ストール (その2)		35	まとめ		
	18	空中操作ストール (その3)		36	まとめ		
成績割合		テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。		
		学習態度・出席率	40%				
		レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計	100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫0%					
講師プロフィール		担当教員はJAL日本航空の元パイロットである。					

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担 当 者 名		黒羽 則和	
学 科		航空学科パイロットコース		授業方法		ゼミ	
認定単位	2単位	開 講 期				授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選		必選			
授業目的		パイロット養成機関の合格をめざす。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット及び社会人として必要な視野の広さ、道徳性、コミュニケーション能力、信頼性を身につけていく。					
授業概要		航空保安施設や航空気象、航空安全のための手法、異文化理解や飛行のメカニズムなどを学びつつ、各自の関心を広げながら、パイロットの資質を獲得する。加えて、インターナショナルウィーク参加や航空関連施設見学を通じて視野を広め、道徳性、コミュニケーション能力を高めていく。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション		19	異文化理解		
	2	オリエンテーション		20	航空機の構造 (その1)		
	3	オリエンテーション		21	航空機の構造 (その2)		
	4	授業方針について/ガイダンス		22	航空機の構造 (その3)		
	5	航空保安施設 (その1)		23	航空交通管制一般 (その1)		
	6	航空保安施設 (その2)		24	航空交通管制一般 (その2)		
	7	航空保安施設 (その3)		25	航空交通管制一般 (その3)		
	8	航空気象情報の種類		26	飛行空域		
	9	気象情報の利用 (その1)		27	航空法規/機長の義務		
	10	気象情報の利用 (その2)		28	航空法規/機長の権限		
	11	気象情報の利用 (その3)		29	機長の危機管理		
	12	航空安全の概要		30	航空業界研究/安全教育 (その1)		
	13	安全に必要なこと/コミュニケーション・意思決定・チーム形成と維持		31	航空業界研究/安全教育 (その2)		
	14	安全に必要なこと/ワークロードマネジメント・状況認識マネジメント		32	羽田空港機体工場見学		
	15	安全に必要なこと/Threat and Error Management (その1)		33	ゼミ授業内容についての質疑応答		
	16	安全に必要なこと/Threat and Error Management (その2)		34	まとめ		
	17	安全に必要なこと/安全対策		35	まとめ		
		18	健康管理と維持		36	まとめ	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	フライト訓練開始前と終了後に質問を受け付ける。	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体験型学習≫10%					
講師プロフィール		担当教員はJAL日本航空の元パイロットである。					

シラバス

科目名		英語リスニングⅡ		担 当 者 名		高野 美智子	
学 科		航空学科パイロットコース		授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	72時間
授業目的		航空大学校の一次試験突破を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC公開試験を年2回受験する。目標スコア:650					
授業概要		Dictationを行い、retention skillを向上させる。音読練習で正しい発音をマスターする。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	英検準1級①:part1 Dialogs			19	TOEIC公式問題集2 (test2) Part 1～Part4 全部解く	
	2	英検準1級①:part2 Passage			20	Part1 & 2 復習	
	3	英検準1級①:part3 Real-Life			21	Part 3 復習	
	4	英検準1級②:part1 Dialogs			22	Part 3 復習	
	5	英検準1級②:part2 Passage			23	Part 3 復習	
	6	英検準1級②:part3 Real-Life			24	Part 4 復習	
	7	英検準1級③:part1 Dialogs			25	Part 4 復習	
	8	英検準1級③:part2 Passage			26	Part 4 復習	
	9	前期中間試験:実力テスト			27	単語テスト	
	10	英検準1級③:part3 Real-Life			28	熟語テスト	
	11	TOEIC 公式問題集2 (test1) Part 1～Part4 全部解く			29	英会話1	
	12	Part1 & 2 復習			30	英会話2	
	13	Part 3 復習			31	英会話3	
	14	Part 3 復習			32	英会話4	
	15	Part 3 復習			33	英会話5	
	16	Part 4 復習			34	英会話6	
	17	Part 4 復習			35	英会話7	
	18	実力テスト			36	学年末期末試験	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	1 on 1 面談	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S 90-100点、A 80-89点、B 70-79点、C 60-69点、D 59点以下(不合格)	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		担当教員は、全日本空輸(株)でCA、外資系企業A社(retail)においてexecutive secretary並びに人事採用担当、また外資系企業B社(insurance)では法務部に所属し、弁護士アシスタントの経験をもつ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験と仕事での実務経験から身につけたスキルである。(TOEIC 970)					

シラバス

科目名		英語リーディングⅡa		担 当 者 名		高野 美智子	
学 科		航空学科パイロットコース		授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	54時間
授業目的		航空大学校・海上保安庁航空課程・航空学生(自衛隊)の一次試験突破を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC公開試験を年2回受験する。目標スコア:650点					
授業概要		英文読解力と速読のスキルを上げる					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	英検準2級 英文読解1			19	TOEIC公式問題集1 test1_Part6	
	2	英検準2級 英文読解2			20	TOEIC公式問題集1 test2_Part6	
	3	英検準2級 英文読解3			21	TOEIC公式問題集1 test1_Part7	
	4	英検2級 英文読解1			22	TOEIC公式問題集1 test1_Part7	
	5	英検2級 英文読解2			23	TOEIC公式問題集1 test1_Part7	
	6	英検2級 英文読解3			24	TOEIC公式問題集1 test2_Part7	
	7	英検2級 英文読解4			25	TOEIC公式問題集1 test2_Part7	
	8	英検2級 英文読解5			26	TOEIC公式問題集1 test2_Part7	
	9	前期中間試験:実力テスト			27	実力テスト	
	10	速読練習1			28	TOEIC公式問題集2 test1_Part6	
	11	速読練習2			29	TOEIC公式問題集2 test2_Part6	
	12	速読練習3			30	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	13	速読練習4			31	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	14	速読練習5			32	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	15	速読練習6			33	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	16	速読練習7			34	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	17	速読練習8			35	単語・熟語テスト	
	18	実力テスト			36	学年末期末試験	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	1 on 1 面談	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S 90-100点、A 80-89点、B 70-79点、C 60-69点、D 59点以下(不合格)	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		担当教員は、全日本空輸(株)でCA、外資系企業A社(retail)においてexecutive secretary並びに人事採用担当、また外資系企業B社(insurance)では法務部に所属し、弁護士アシスタントの経験をもつ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験と仕事での実務経験から身につけたスキルである。(TOEIC 970)					

シラバス

科目名		フライトシミュレーション I b		担 当 者 名		長野 昭一、黒羽 則和		
学 科		航空学科大学コース		授業方法		実習		
認定単位	1単位	開 講 期			授 業 時 間 数	36時間		
開講学年	1学年	必・選		必選				
授業目的		パイロット養成機関の飛行適性検査合格を目的とする。						
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		フライトシミュレーターを用いて操縦技術を身に付けながら、飛行機の特性・知識・判断力を習得し 更なる社会性の調和を図る。						
授業概要		航空機に対する操縦技術・知識を学び、総合的フライトマネジメントを習得する。						
授 業 計 画 表		授業内容				授業内容		
	1	オリエンテーション			19	空中操作スローフライト (その1)		
	2	オリエンテーション			20	空中操作スローフライト (その2)		
	3	オリエンテーション			21	空中操作スローフライト (その3)		
	4	学習ガイダンス／シミュレーター操作について			22	ILS計器進入方式 (その1)		
	5	計器出発方式 (その1)			23	ILS計器進入方式 (その2)		
	6	計器出発方式 (その2)			24	ILS計器進入方式 (その3)		
	7	計器出発方式 (その3)			25	タッチ&ゴー操作 (その1)		
	8	直線水平飛行			26	タッチ&ゴー操作 (その2)		
	9	水平旋回			27	トラフィックパターン飛行 (その1)		
	10	空中操作旋回バンク30° (その1)			28	トラフィックパターン飛行 (その2)		
	11	空中操作旋回バンク30° (その2)			29	着陸操作 (その1)		
	12	空中操作旋回バンク30° (その3)			30	着陸操作 (その2)		
	13	空中操作旋回バンク45° (その1)			31	ハンガー前駐機		
	14	空中操作旋回バンク45° (その2)			32	総合操縦演習 (その1)		
	15	空中操作旋回バンク45° (その3)			33	総合操縦演習 (その2)		
	16	空中操作ストール (その1)			34	まとめ		
	17	空中操作ストール (その2)			35	まとめ		
	18	空中操作ストール (その3)			36	まとめ		
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。		
		学習態度・出席率		40%				
		レポート		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
		合計		100%				
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫40% R≪実働実践型学習≫10% A≪主体的参加型学習≫50% G≪海外体感型学習≫0%						
講師プロフィール		担当教員はJAL日本航空の元パイロットである。						

シラバス

科目名		基礎ゼミⅠA		担 当 者 名		黒羽 則和	
学 科		航空学科大学コース		授業方法		ゼミ	
認定単位	2単位	開 講 期				授 業 時 間 数	36時間
開講学年	1学年	必・選		必選			
授業目的		パイロット養成機関の合格をめざす。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		パイロット及び社会人として必要な視野の広さ、道徳性、コミュニケーション能力、信頼性を身につけていく。					
授業概要		航空保安施設や航空気象、航空安全のための手法、異文化理解や飛行のメカニズムなどを学びつつ、各自の関心を広げながら、パイロットの資質を獲得する。加えて、インターナショナルウィーク参加や航空関連施設見学を通じて視野を広め、道徳性、コミュニケーション能力を高めていく。					
授 業 計 画 表		授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション		19	異文化理解		
	2	オリエンテーション		20	航空機の構造 (その1)		
	3	オリエンテーション		21	航空機の構造 (その2)		
	4	授業方針について/ガイダンス		22	航空機の構造 (その3)		
	5	航空保安施設 (その1)		23	航空交通管制一般 (その1)		
	6	航空保安施設 (その2)		24	航空交通管制一般 (その2)		
	7	航空保安施設 (その3)		25	航空交通管制一般 (その3)		
	8	航空気象情報の種類		26	飛行空域		
	9	気象情報の利用 (その1)		27	航空法規/機長の義務		
	10	気象情報の利用 (その2)		28	航空法規/機長の権限		
	11	気象情報の利用 (その3)		29	機長の危機管理		
	12	航空安全の概要		30	航空業界研究/安全教育 (その1)		
	13	安全に必要なこと/コミュニケーション・意思決定・チーム形成と維持		31	航空業界研究/安全教育 (その2)		
	14	安全に必要なこと/ワークロードマネジメント・状況認識マネジメント		32	羽田空港機体工場見学		
	15	安全に必要なこと/Threat and Error Management (その1)		33	ゼミ授業内容についての質疑応答		
	16	安全に必要なこと/Threat and Error Management (その2)		34	まとめ		
	17	安全に必要なこと/安全対策		35	まとめ		
		18	健康管理と維持		36	まとめ	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	フライト訓練開始前と終了後に質問を受け付ける。	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート		0%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89点 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P≪課題解決型学習≫30% R≪実働実践型学習≫20% A≪主体的参加型学習≫40% G≪海外体験型学習≫10%					
講師プロフィール		担当教員はJAL日本航空の元パイロットである。					

シラバス

科目名		英語リスニングⅡ		担 当 者 名		高野 美智子	
学 科		航空学科大学コース		授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		4単位 2学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	72時間
授業目的		航空大学校の一次試験突破を目指す					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC公開試験を年2回受験する。目標スコア:650					
授業概要		Dictationを行い、retention skillを向上させる。音読練習で正しい発音をマスターする。					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	英検準1級①:part1 Dialogs			19	TOEIC公式問題集2 (test2) Part 1～Part4 全部解く	
	2	英検準1級①:part2 Passage			20	Part1 & 2 復習	
	3	英検準1級①:part3 Real-Life			21	Part 3 復習	
	4	英検準1級②:part1 Dialogs			22	Part 3 復習	
	5	英検準1級②:part2 Passage			23	Part 3 復習	
	6	英検準1級②:part3 Real-Life			24	Part 4 復習	
	7	英検準1級③:part1 Dialogs			25	Part 4 復習	
	8	英検準1級③:part2 Passage			26	Part 4 復習	
	9	前期中間試験:実力テスト			27	単語テスト	
	10	英検準1級③:part3 Real-Life			28	熟語テスト	
	11	TOEIC 公式問題集2 (test1) Part 1～Part4 全部解く			29	英会話1	
	12	Part1 & 2 復習			30	英会話2	
	13	Part 3 復習			31	英会話3	
	14	Part 3 復習			32	英会話4	
	15	Part 3 復習			33	英会話5	
	16	Part 4 復習			34	英会話6	
	17	Part 4 復習			35	英会話7	
	18	実力テスト			36	学年末期末試験	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	1 on 1 面談	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S 90-100点、A 80-89点、B 70-79点、C 60-69点、D 59点以下(不合格)	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		担当教員は、全日本空輸(株)でCA、外資系企業A社(retail)においてexecutive secretary並びに人事採用担当、また外資系企業B社(insurance)では法務部に所属し、弁護士アシスタントの経験をもつ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験と仕事での実務経験から身につけたスキルである。(TOEIC 970)					

シラバス

科目名		英語リーディングⅡa		担 当 者 名		高野 美智子	
学 科		航空学科大学コース		授 業 方 法		講義	
認定単位 開講学年		3単位 2学年	開 講 期 必・選	必選		授 業 時 間 数	54時間
授業目的		航空大学校・海上保安庁航空課程・航空学生(自衛隊)の一次試験突破を目指す。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)		TOEIC公開試験を年2回受験する。目標スコア:650点					
授業概要		英文読解力と速読のスキルを上げる					
授 業 計 画 表		授 業 内 容				授 業 内 容	
	1	英検準2級 英文読解1			19	TOEIC公式問題集1 test1_Part6	
	2	英検準2級 英文読解2			20	TOEIC公式問題集1 test2_Part6	
	3	英検準2級 英文読解3			21	TOEIC公式問題集1 test1_Part7	
	4	英検2級 英文読解1			22	TOEIC公式問題集1 test1_Part7	
	5	英検2級 英文読解2			23	TOEIC公式問題集1 test1_Part7	
	6	英検2級 英文読解3			24	TOEIC公式問題集1 test2_Part7	
	7	英検2級 英文読解4			25	TOEIC公式問題集1 test2_Part7	
	8	英検2級 英文読解5			26	TOEIC公式問題集1 test2_Part7	
	9	前期中間試験:実力テスト			27	実力テスト	
	10	速読練習1			28	TOEIC公式問題集2 test1_Part6	
	11	速読練習2			29	TOEIC公式問題集2 test2_Part6	
	12	速読練習3			30	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	13	速読練習4			31	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	14	速読練習5			32	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	15	速読練習6			33	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	16	速読練習7			34	TOEIC公式問題集2 test1_Part7	
	17	速読練習8			35	単語・熟語テスト	
	18	実力テスト			36	学年末期末試験	
成績割合		テスト		60%	学習FB方法	1 on 1 面談	
		学習態度・出席率		40%			
		レポート			成績評価	出席率80%以上 S 90-100点、A 80-89点、B 70-79点、C 60-69点、D 59点以下(不合格)	
		合計		100%			
P/R/A/G割合		P<<課題解決型学習>> R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>					
講師プロフィール		担当教員は、全日本空輸(株)でCA、外資系企業A社(retail)においてexecutive secretary並びに人事採用担当、また外資系企業B社(insurance)では法務部に所属し、弁護士アシスタントの経験をもつ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験と仕事での実務経験から身につけたスキルである。(TOEIC 970)					